**令和5年度 港まちづくり協議会**

**「アート関連事業実施・運営業務委託」に係る**

**公募型プロポーザル実施説明書**

1　業務の概要

　(1) 業務名　　　　　　アート関連事業実施・運営業務委託

　(2) 仕様書　　　　　　別紙仕様書のとおり

　(3) 契約期間　　　　　契約締結日から令和6年3月16日（土）まで

　(4) 契約上限金額　　　金7,400,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

　(5) 審査　　　　　　　応募候補者の中からふさわしい人材を選考するプロポーザル方式。

2　参加資格について

1. 過去5年以内に、動員数500人以上規模の現代美術展や芸術祭等の企画・運営等を務めた経験がある人材。
2. 地域住民の関わることのできるイベントを企画・立案できる人材。

3　参加手続

　(1) 問い合わせ先

　　　　〒455－0037　名古屋市港区名港一丁目19番23号

　　　　港まちポットラックビル　港まちづくり協議会事務局

　　　　TEL : 052-654-8911

FAX : 052-654-8912

　　　　MAIL : info@minnatomachi.jp

　(2) 企画提案書等の提出

　　　ア　提出書類（様式自由）

1. 表紙
2. 企画提案書（Ａ4・片面刷りで10枚以内。）
3. 見積書及び内訳書（内訳は仕様書に記載されている項目を具体的に反映すること。）
4. 業務実績（Ａ4・片面刷りで5枚以内。過去5年間の類似の受託業務の事業実績。件名のほか、事業期間、概要、成果等を明記すること。）

　　　イ　作成に当たっての注意事項

1. 左上を綴じ、正本（1部）はホッチキス留めとし、副本（15部）はクリップ留めとして、合計16部作成する。
2. 提出期限後は提出された提案書等の差替え又は再提出は認めない（当協議会から指示があった場合を除く。）

　　 ウ　募集期間、提出期間、提出場所、提出方法

1. 募集期間　令和5年2月21日（火）から3月13日（月）まで
2. 提出期間　令和5年3月6日（月）から3月13日（月）まで

受付時間　9時から17時（土・日曜日及び正午から13時を除く）

　　　　　　　　※提出期限後に到着した企画提案書等は、提案を無効とする。

1. 提出場所　3-(1)に同じ
2. 提出部数　16 部（正本1部、副本15部）
3. 提出方法　事前に連絡の後、持参による

　　 エ　提出された提案書等の取扱い

1. 著作権は、提案者に帰属することとする。公表等が特に必要と認められる場合　は、当協議会は提案書等の全部または一部を無償で使用できるものとする。
2. 提出された提案書等は、本プロポーザルにおける契約候補者の選定以外の目的では使用しない。
3. 提出された提案書等は返却しない。
4. 提案書等に含まれる著作権・特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果、生じた責任は提案者が負う。

　(3) 実施説明書、仕様書等に関する事前説明会

　　　下記のとおり、本プロポーザルに関する事前説明会を実施する。事前説明会に不参加であっ　　　ても、本プロポーザルへ参加することはできる。

　　　ア　日時：令和5年2月28日（火）13時から

　　　イ　場所：3-(1)に同じ

　　 ウ　参加方法：参加希望の意向を令和5年2月24日（金）17時までに3-(1)に示す問い合

　　　　 わせ先へ、 FAX又は電子メールにより提出すること。

　　　エ　参加人数　各者2名以内

4　審査の手続き及び契約候補者の選定

　　提出された企画提案書等の審査は、次のように行う。

　(1) 審査の実施

　　ア　審査（予備審査：提出書類審査のみ、本審査：提出書類及びヒアリングによる審査）

1. 本審査予定日　令和5年3月24日（金）18時30分〜21時の中で30分以内。詳細については、予備審査を通過した対象者に別途連絡する。
2. 提出された提案書等について説明及び確認を行い、下記の「評価基準」に従い審査を実施する。その際、他の資料、機材等は使用しないものとする。
3. 本審査への出席者は3人以内（うち1人は業務を中心的に担当する者が望ましい。）とし、ヒアリング時間は1者あたり30分以内（説明20分、質疑10分）を予定している。
4. 協議会委員一人あたり20点満点として、全員の採点の合計点が最も高い者を契約候補者とする。なお、点数が同点になった場合は、審査員で協議を行い、順位を決定するものとする。
5. 委員は、提案者の代表者または会員である場合、審査に加わることができない。

　　イ　評価基準

1. 評価方法

　　　　　　　 下記の評価項目毎に次の5段階評価とする。ただし、4つの評価項目の平均点が3.0点未満の場合は委託しない。（最高点：4項目×5点＝20点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 点数 | ５ | ４ | ３ | ２ | １ |
| 評価 | 非常に優れている | 優れている | 普通 | やや不十分 | 不十分 |

1. 評価項目及び評価の着眼点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 評価の着眼点 |
| ❶ | 経験と実績 | ■本業務と同様・類似事業の経験・実績があるか  ■西築地学区連絡協議会や港まちづくり協議会が実施する事業との協働の実績があるか |
| ❷ | 実施体制 | ■責任者及び人員等が年間を通じて提案内容を実施できるか  ■プログラムの企画や構成、出演者の手配に必要なネットワーク及び調整能力を持っているか  ■提案内容に対して見積金額は適切か |
| ❸ | 将来性 | ■事業の実施にあたっては、西築地学区連絡協議会を始めとした地域コミュニティにおける既存団体等との連携は可能か |
| ❹ | 企画内容 | ■事業の目的を達成するために効果的な企画内容であるか  ■実施方法等は、実現性がある提案になっているか  ■港まちの住民の方々の理解が得られ、事業参加者に利益を及ぼす提案か  ■当協議会が実施してきたこれまでの事業の文脈を理解しているか  ■当協議会が実施している事業に対し創造的な見地からの提案が十分にあるか  ■提案内容に独自性があり、新たな視点の工夫などがあるか |

　(2) 契約候補者の選定

　　ア　ヒアリング及び提出された提案書等を審査し、もっとも優れている提案者を契約候補者と　　　　して、契約締結に向けた手続きを行う。

　　イ　契約候補者と契約締結に至らなかった場合は、次順位の者を新たな契約候補者として手続

　　　　きを行うものとする。

5　審査結果の通知

　　全提案者の順位と点数は、提案書等を提出したすべての者に書面にて通知する。

6　契約候補者に選定されなかった者に対する理由の説明

　(1) 5の通知を受けた者は、通知を受けた日の翌日から起算して10日以内に、当該提案者が契約

候補者に選定されなかった理由（以下「非選定理由」という。）について、書面（様式は自　　　 由。）により説明を求めることができる。

　(2) 書面は持参して提出すること。

　(3) 非選定理由の説明請求の受付場所及び受付時間は次のとおりである。

　　ア　受付場所　3-(1)に同じ

　　イ　受付時間　平日の9時から17時まで（土・日曜日及び正午から13時を除く）

　(4) (1)に対する回答は、原則としてその説明を求めることができる最終日の翌日から15日以内 　　　に、説明を求めた者に対して書面で行う。

　(5) 書面にて回答を行った後においては、再度の非選定理由の説明請求は受け付けない。

7　契約締結

1. 契約締結日： 令和5年4月24日（月） ごろ迄を予定
2. そ の 他：

　　ア　当協議会は、契約候補者に決定した事業者と契約金額等契約条件について協議の上、業務委託契約を締結する。

　　イ　業務委託契約の条件については、業務提案書の内容を基本として、当協議会と契約候補者との協議により定めるものとする。

　　ウ　当協議会は、順位第1位の契約候補者との協議が成立しなかった場合は、順位第2位以下の候補者と順次協議を行うこととする。

8　その他

　(1)　無効となる提案等

　　　 次に該当する提案は、無効とする。

　　　 ア　提案書等に虚偽の記載をした者の提案

　　　 イ　本説明書に示した提案書等の作成及び提出に関する条件に違反した提案

　　　 ウ　見積金額が1-(4)における契約上限金額を超える提案

　　　 エ　審査の公平性に影響を与える行為をした者の提案

　(2)　提案書等の作成等提案に関して必要となる一切の費用は、提案者の負担とする。

　(3)　本プロポーザルの提案者が協議会から受領した書類は、協議会の了解なく公表又は使用してはならない。

　(4)　1者につき提案は1つとし、複数の提案はできない。

　(5)　提案書等の提出後に辞退する場合は、必ず書面（様式は自由。）により届け出るものとする。

　(6)　提案書等の提出後、当協議会が必要と認める場合は、追加書類の提出を求めることがある。

(7) 本事業は、名古屋市から交付される「港まち活性化補助金」で運営しており、令和5年度の補助金交付の決定により実施が確定されます。交付時期により、事業実施が延期または中止となる場合があります。